

令和元年度第2回弘前市地域密着型サービス運営委員会会議録

日 時 令和2年1月31日（金）午後3時40分～午後3時55分

場 所 市役所前川新館6階 大会議室

出席委員 梅村芳文、須藤浩、小川幸裕、中村亨、前田淳彦、島浩之、大湯恵津子
相馬齋弼、吉本睦子、丹藤雄介

欠席委員 成田和博、長内公夫、川村陽彦

事務局 福祉部長兼福祉事務所長 番場邦夫、介護福祉課長 工藤繁志
介護福祉課長補佐 佐々木順一、主幹兼介護事業係長 山谷互
介護事業係主事 佐藤真、岸陽香

○案件1 地域密着型サービス事業者の新規指定及び指定更新について

山谷主幹兼介護事業係長が案件1について説明

発言者	内 容
前田委員	今回の新規指定は法人の変更によるものということだが、人員の確保など、経営の面で問題は無いのか。
山谷主幹兼 介護事業係長	法人が変わるのは問題無い。今回のような代表者の高齢化のため、事業の継続が困難というケースもあるが、利用者の立場に立って事業は継続していただいている。

○案件2 令和元年度地域密着型サービス事業者の公募状況及び整備について

山谷主幹兼介護事業係長が案件1について説明

発言者	内 容
梅村委員 (議長)	医師会の案では「看護小規模多機能型事業所」というのは、おおよそ診療所にくっつけて、外付けのサービスとして介護の事業、訪問診療のようなタイプを想定しているが、経営母体には社会福祉法人が多い。医療のサポートとしては心配な部分が多少あると思う。
山谷主幹兼 介護事業係長	公募するに当たって、先進地の例を調べたが、社会福祉法人が経営しているところもあった。その件に関しては、法人の種類を限定せず、介護サービスを提供できるのであれば大丈夫と考える。
島委員	看護小規模多機能に積極的に参入できないのは、何か理由が在るのか。
梅村委員	看護小規模多機能はいわば訪問看護ステーションの「通所版」。現在、津軽圏域の訪問看護ステーションが少なくなっているため、今後は訪問看護ステーションの充実が必要だと思う。

○案件3 休止中の地域密着型サービス事業者の指定更新について

山谷主幹兼介護事業係長が案件1について説明

発言者	内 容
島委員	今は「地域密着型サービス運営委員会」をやっているが、これは委員会が申請に対してOKを出せば事業者へ許可が下りるのか。それとも、ここは意見を聴くだけで別に決めるところがあるのか。
山谷主幹兼 介護事業係長	更新に関しては、運営委員会に決めていただくが、もしも「指定基準にそぐわないのでは」というご意見があれば、事業者に対し、改善すべき点を説明して、もしも改善できないのであれば、指定できないということになる。
島委員	一昨年から社会福祉法人の評議員や理事をつとめているが、今後もこちらの委員を続けてもよいのか。
山谷主幹兼 介護事業係長	確認して後で報告します。